

生涯学習・社会教育関係職員研修講座【センター研修3】

令和7年7月15日(火)10:00～15:00 県総合社会教育センター 受講者19名

1 内容

【テーマ】「スマホ1つでOK! 動画作成講座
～ 基礎 と 実践 まるわかり 編 ～」

【講 師】 エイチピースタイリング 代 表 ^{たかもり}高森 ^{みき}三樹 氏



【経 歴】

Webサイトの企画政策・コンサルティング等に従事しながら、障がいのある方や教育現場においてICTを効果的に活用できる方法等を研究している。また、研修会の講師、情報発信アドバイザー、アクセシビリティコンサルティング等を務めている。障がい者向けのスマホ・タブレット講習会も県内外で実施している。障がい者に対して、スマホ・タブレットの活用法を教えることができる人材の育成にも注力しており、この事業が、日本のモバイル業界における最高峰の賞、「モバイルプロジェクト・アワード2014」の社会貢献賞に選ばれている。

【講義要旨】

○なぜ今、自治体で動画を活用するのか

- ・従来の広報（広報誌等）が抱える「情報が届かない」「内容が理解されにくい」「記憶に残らない」といった課題に対し、動画が有効な解決策となることを学びました。
- ・動画が持つ幅広いリーチ、直感的な伝達力、記憶への定着効果に加え、視聴者に「親しみやすさ」を感じさせ、「シェアしたくなる」ような共感を呼ぶコンテンツの重要性についても学びました。

○自治体による先進的な動画活用事例

- ・「地域の魅力発信（観光・グルメ等）」「制度解説（福祉・税金等）」「災害対策（避難所開設・防災グッズ等）」といった具体的な活用パターンを学びました。
- ・広島県のTikTok活用や、沖縄県の投稿動画（観光）による経済効果、福島県の震災記憶伝承など、高い効果を上げた先進事例を通して、動画活用の大きな可能性を具体的に把握することができました。

○スマートフォンでの動画制作（実践編）

- ・「手ブレ補正」や「ストレージ容量」といったスマホ選びの要点から、購入すべき機材の優先順位（①三脚 ②マイク③照明）、そしてC a p C u tを用いた編集アプリの具体的な操作方法まで、すぐに実践できる知識と技術を習得しました。また、情報発信の際に必須となる著作権等の法的・倫理的な注意点についても学ぶことができ、明日からでも動画制作を始められる自信がつけました。

2 受講者の感想

- ・とてもわかりやすく、楽しく受講できました。仕事でもプライベートでも、少しずつチャレンジして、活用していきたいと思います。ありがとうございました。
- ・撮影に必要な機材や撮影の仕方など、初歩的な部分からのお話で、非常に分かりやすく勉強になりました。
- ・楽しかったです。初心者でも動画ができておもしろかったです。また、写真からでも動画ができるんだなと思って良かったです。ジンバルも興味深かったです。